

②7 農業用水を防災用水として利用、防災訓練を実施【三重県 伊勢寺地域環境保全向上活動をする会】

○町内5つのため池を活用した大規模な消火訓練、応急手当訓練、炊出し訓練等を実施。平成19年から毎年継続して実施。

地域概要

- 伊勢寺地域は、松阪市中心部より5kmほど西に位置する（人口約1,000人）。
- 5つのため池を水源に、水田を中心とする営農が展開。
- ため池の貯留水は防火用水としても利用可能で、非かんがい期は、消防団が管理を行っている。
- 農業水利施設や農村環境の良好な保全を目的に、「伊勢寺地域環境保全向上活動をする会」（営農組合、自治会、水利組合、PTA、消防団、農業経営者等より構成）が平成19年に設立し、水路の補修研修など実施。



伊勢寺地域位置図
（出典：国土地理院HP※一部加筆）



水路の補修研修
（出典：水土里ネットみえHP）

対策の背景

大規模地震への備え

- 阪神淡路大震災の体験談より、地域住民による共助が重要であること、ライフラインが使用不可となり消火活動が行えない事態になること等を聞き、大規模な被害が危惧されている南海トラフ巨大地震への対応の重要性を痛感し、取組みを進めた。

対策の内容・結果

【防災訓練】

- 平成19年より防災訓練を毎年実施。
- 当初は、消火栓を使った消火訓練であったが、町内の5つのため池の水を使った大規模な消火訓練、炊き出し訓練等、随時訓練メニューを検討・追加しながら実施。
- 防災訓練の見学者には、炊き出しの提供を行って参加者を広げる工夫等、広報活動も行っている。

【防災組織の設立】

- 昼間、男性が不在時の災害に備えて女性を中心とした防災組織「友結会」を設立。

- 地域の防災意識の向上につながっている。
- 食料備蓄の確保など、関係機関と調整し、今後もソフト面の活動を行っていく予定。



炊き出し訓練の様子
（出典：伊勢寺地域環境保全向上活動をする会提供資料）



ため池農業用水を使った消火訓練
（出典：伊勢寺地域環境保全向上活動をする会提供資料）